

共産党市議会議員の一般質問

◇松尾信次議員 9月11日 (水) 6番

- ・萱島周辺のまちづくりについて
- ・大阪・関西万博について
- ・新型コロナについて
- ・非正規労働者の待遇改善、男女賃金格差の是正について
- ・障害福祉入所施設・グループホームについて
- ・福祉施設への監査について
- ・コメ不足と価格高騰について

◇中林かずえ議員 9月12日 (木) 4番

- ・高齢者施策について
- ・子育て・教育について
- ・シングルマザー支援について
- ・障がい者施策について
- ・生活保護について
- ・まちづくりについて
- ・ジェンダー平等について
- ・地域ねこ活動について
- ・各種申請用紙の公開について
- ・公共施設のWi-Fi (ワイファイ) について

◇西田まさみ議員 9月13日 (金) 7番

- ・教職員の働き方改革について
- ・ジェンダー平等について
- ・留守家庭児童会について
- ・香里園駅前の公衆トイレの設置について
- ・ベンチの設置について
- ・三井南町の浸水対策について
- ・寝屋川河川内の樹木について

市議会9月定例会はじまる

子どもの権利条例案策定へ審議会を設置



子どもの意見表明権の尊重 西田議員が求める

8月28日から9月市議会が開催されています。9月3日には、文教生活常任委員会が開催され、子どもの権利に関する条例案を審議する審議会の設置に係る

日本共産党議員団 条例制定を早くから求める

子どもの権利条約が1989年11月の第44回国連総会において採決され、日本は1994年4月に批准しました。その後、子どもの権利を保障し、それに関する施策を推進することを目的とした条例が全国66の自治体で制定されています。寝屋川市では、日本共産党市議員団が早

くから「子どもの権利条例」の制定を強く求めました。そんな中、本市でも、子どもの権利に関する条例案策定に向けての審議会設置のための条例の一部改正が行われました。

西田議員は、審議会の委員に市民公募の委員を含むべきではないかと質問しました。市は、子どもに関しても専門的な意見を有する方を委員として考へている。また、市民の意見を聞くことについて検討していると答弁しました。市は、子どもの意見

中学校校長、民生児童委員、大阪中央子ども家庭センター、市の子どもに関わる部局などから委員が選出され、

条例改正について、また、予算決算常任委員会分科会では、中学校のデジタル採点システムや子育て支援員養成研修業務などの補正予算について審議がされました。

子ども・市民の声を聞き 実効性のある子どもの権利条例に



2025年度中に条例案策定を目指すとしています。

発行 日本共産党 寝屋川市議員団
072-824-1181
FAX : 824-7760
No.3499

寝屋川市議員

中林かずえ
宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市議員

松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924
寝屋川市議員

西田まさみ
石津中町 30-3
090-9713-3588
前寝屋川市議員

太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-9722

法律相談

日時：9月26日(木)

午後6時半～

場所：日本共産党

寝屋川市委員会2階

※今月は都合により、第4
木曜日になります。

※相談を希望される方は、
議員にご連絡ください。

市政報告会

日時：9月28日(土)

午後5時～

場所：日本共産党

寝屋川市委員会
2階会議室

お気軽にご参加ください

建設中の
大阪関西万博会場



4歳から高校生の万博招待 安全性確保できない 今からでも中止を

大阪・関西万博開催まで7か月余になる中、府内の学校遠足を無料招待する事業をめぐり、各地で疑問の声があがっています。会場内のガス爆発事故とその後の対応、アクセス環境の悪さや、場内での安全性を問う声など、問題が山積する中、万博遠足の中止を求める声も広がっています。日本共産党は、万博そのものの中止を求めています。

情報提供せず 意向調査実施

吉村洋文知事が昨年8月、府内在住の4歳から高校3年生までのこども約102万人を万博に無料招待することを発表。これを受け、府教委は学校からの万博参加無料招待事業を進めきました。

今年3月28日、大阪市此花区夢洲の万博会場建設地内で、メタンガス爆発事故が起きました。万博協会は3週間後の4月10日に会見を開き、事故原因を説明しましたが、会期中の安全部門を発表したのは6月下旬でした。その後も、爆発の危険性がある高濃度のガスが、ガス抜き管から出続けています。

府教委は、会場の安全性、受け入れ態勢、見学できるパビリオン、下見についての情報などを示さないまま、今年4月19日から府内の小中高校約1900校

子どもたちの無料招待事業は、吉村知事の一聲で始まり、府教委が児童・生徒招待事業として進めてきました。これまで開かれた府教委は、児童・生徒招待事業として進めてきました。これまで開かれた府教育委員会会議で、この問題について話し合われたことは、昨年9月、予算案が確認され

た以外にありません。

万博遠足について問い合わせをしても、各教委は答えられず、府教委も「万博協会ホームページに」などと回答することが少なくなりなど、教育の自主性もないがしろにされています。

万博協会任せでいいのか

吉村知事は意向調査の結果を発表する会見で、8割の学校が参加を希望したと誇らしげに言いましたが、万博会場の下見が4月の開幕後しかできないこと

8月上旬、「私のところに、「スーパーでお米を売っていない、あちこちお店を回ったが、どこにもない」、「何件も店を回って、ようやく、お米は買えたけど、ずいぶん高かった」という声が寄せられました。

この声が全国各地であがっていたのに、農省は、「米がひつ迫しているとは考へていない」「新米が出来ば品薄感は解消される」と何の対策も取ろうとしませんでした。

そこで、日本共産党国会議員団は、米不足への緊急対応を求める申し入れを行いました。その内容は、①米不足

の実態・実情を把握し、関係者の声を聞く②政府備蓄米の活用も含め、生産者団体や流通・小売り業界と協力し店頭に米が十分にまわるようになります。



西田
まさみ



十分な下見できない 学校関係者・専門家が指摘